

議会だより

そでがうら

市議会



ガウラ

袖ヶ浦市マスコットキャラクター「ガウラ」

No.163

平成27年8月1日
発行:千葉県袖ヶ浦市議会

みんなで力を合わせて



お知らせ

8月22日(土)
午前10時~12時

議員と話してみませんか

Café de ぎかいを

市民会館で開催

詳細は裏表紙を
ご覧ください。

高谷地区夏祭り

6月定例会

補正予算可決(南袖火葬場建設用地買戻し)	2ページ
議員定数削減 24人から22人へ	3ページ
国保税条例一部改正、陳情、小学生が議場見学	4ページ
議決結果、議長交際費HP公開	5ページ
11人が市政を問う 一般質問	6~9ページ
視察レポート~常任委員会編~	10~11ページ
Café de ぎかいのお知らせ、議員表彰、 9月定例会の予定	12ページ

6月定例会

6月定例会は、6月2日から6月23日までの22日間の日程で開催されました。

条例の一部改正2件、財産の取得1件、一般会計補正予算1件、専決処分の承認3件、人事案件3件、陳情2件、発議案3件、計15案件について審議しました。そのほか、報告が8件ありました。

火葬場建設計画の経緯

H11年 9月	南袖用地購入補正予算可決
H11年 12月	公社南袖の用地買収
H20年 3月	市長が全員協議会で南袖建設断念を説明
H20年 6月	火葬場関連で一般質問5人
H20年 9月	議会が南袖建設計画断念の撤回を求める決議可決
H21年 4月	市長撤回しない旨回答
H21年 9月	(仮称)そでがうらメモリアルパーク検討特別委員会設置
H23年 11月	木更津市から共同建設の打診
H23年 11月	林区から火葬場候補地として要望書提出
H24年 6月	特別委員会調査報告
H27年 6月	木更津市から4市共同建設の提案あり

平成27年度一般会計補正予算(第1号)が可決されました。この補正予算は、土地開発公社が火葬場建設用地として市から委託されて取得した土地を、市が利活用するために買い戻す費用(諸経費含む)を計上したもので、歳入歳出ともに11億7千23万円が追加されました。

南袖用地は、公社が平成11年に11億5千万円で購入。周辺住民との合意に至らず、平成20年3月、市長は建設断念を表明しました。次の6月定例会では、「決定の過程で議会に説明が無い」「断念の撤回を求める」など一般質問が集中、9月定例会において断念の撤回

南袖火葬場建設用地

買戻し補正予算可決

今後は、市民へ丁寧な説明を

購入時と同額で買戻し

7年前の「市長の南袖建設断念」と「議会の断念撤回決議」

回を求めました。しかし市長は撤回せず、議会では調査研究のため平成21年9月に特別委員会を設置、平成24年「南袖や他の適地の選考を含め、長年懸案となっていた火葬場建設の実現に向け、議会と共に進めていくことを強く望む」と委員会報告を行いました。

火葬場建設は動き出すのか

木更津市の方針案と袖ヶ浦市の動向

木更津市の方針案は、「4市での共同建設も検討し、建設は木更津市が事業主体となる。また木更津市火葬場の位置に建設し、平成33年度供用開始を目指す」というものでした。これを受け、市は今後の方針を検討するとしています。用地を取得したが火葬場として整備できなかったことや、用地の先行取得が適切だったのかも含め、経緯や今後の方策について丁寧な説明を行うことを求めています。

賛成討論



塩漬け状態からの打開を

- 長年にわたる塩漬け状態から、財源や雇用の確保へ繋がることは建設的。
- 早期の有効活用を期待。
- ただ反対するだけではこの状況は変わらない。
- 市民への説明責任を果たそうとする覚悟は見えた。
- 今後の方向性を示す第一歩として、市民に対して謙虚な姿勢で丁寧な説明を期待する。

反対討論



なぜこのタイミングか

- ◆平成27年度中には共同で進めるのか明確な回答が出る。道筋が整ってからの買戻しでも良いのでは。
- ◆4市での共同建設や、建設要望のあった林区と、具体的な進展が見えていない中、なぜ今のタイミングで補正計上するのか。
- ◆評価額で8億4千6百万円の損失。市民への謝罪も説明も無い。
- ◆当初予算で計上すべき。緊急性が無く予算編成上問題。
- ◆もっと時間をかけて市民にもよく説明すべき。

議員定数削減



24人 → 22人へ

平成28年10月の市議会議員一般選挙から適用

近隣市との議員定数比較

人口は平成27年5月1日現在

	人口	議員定数	備考
袖ヶ浦市	61,952人	22人 (H28.10～)	改正前定数24人
市原市	280,285人	32人 (H26.6～)	改正前定数36人
木更津市	132,461人	24人 (H27.4～)	改正前定数28人
君津市	87,831人	24人 (H15.9～)	改正前定数28人
富津市	45,624人	18人 (H24.4～)	改正前定数22人

議員定数2減 条例改正案可決

平成26年11月に設置された議員定数特別委員会が、6月定例会において、議員定数を2人削減し、22人とする報告を行い、田邊恒生議員他6人から、議員定数条例の一部改正の発議案が提出され、賛成多数で可決されました。

議員定数の削減は、平成28年10月に予定されている市議会議員の一般選挙から適用されます。

議員定数特別委員会 委員長報告から

適切な定数を判断するにあたり、議員定数は、議会の根幹に触れる重要な事項であり、議会制民主主義と民意反映という面から、特に慎重に審議を行いました。

平成26年9月定例会における、議会改革特別委員会報告での、「社会情勢を考慮し議員定数削減を検討していく」という方針を受け、議長の常任委員会委員就任と、常任委員会の委員数について議論を重ねました。

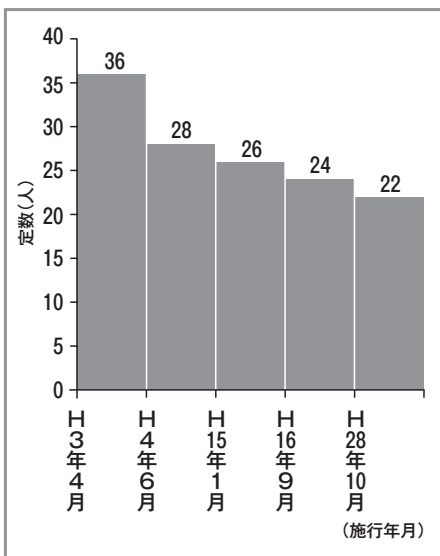
第4回の会議で、議長の常任委員会への就任について、「議長は中立公平の立場であり、委員でなくとも委員会に出席できることから、委員に就任しなくてもよい」とする意見と、「定数削減の

方向が続くのであれば、議長も委員として今まで通り就任した方がよい」という意見がありました。

議論の結果、議長は常任委員会委員に就任はしないことに決定しました。

常任委員会の定数については、「7人による常任委員会の運営実績がある一方、6人以下では議論の活性化が困難と思われるため7人が適当」、「現行の8人は適当と考えるが、市民感情、社会情勢等を考慮し、7人が妥当」という意見と、「住民自治の発展、民意の反映、行政に対するチェック機能の低下等、

袖ヶ浦市の議員定数 変遷



※定数36人は市制施行後の人口に応じた法定定数上限（法定定数上限は平成23年法改正により廃止）
※定数36人及び26人での選挙は実施されていません。

議会の弱体化を招くため簡単に定数を減らすべきではない」との意見があり、採決となりました。

採決の結果、賛成多数で常任委員会の定数は7人に決定。議員定数は22人に決定しました。

議員定数特別委員会

委員長 田邊 恒生
副委員長 長谷川重義
委員 篠原 幸一

佐久間 清
前田美智江
茂木 芳和
佐藤 麗子
篠崎 典之

限度額引き上げと
軽減世帯の拡充

国保条例の一部改正が提出され、賛成多数で可決しました。

賛成
討論



持続可能な
医療保険制
度には必要

賦課限度額の引き上げは、所得に見合った応分の負担と負担の格差是正を図る一方で、世帯の所得判定基準の拡充により、多くの低所得者層の負担を軽減するため賛成です。

反対
討論



富裕層の税
制見直しで
対応を

軽減措置には反対しませんが、賦課限度額は引き上げるべきでなく、政府の医療負担制度の抜本的増額で改善されるべきです。富裕層の税制見直しで十分賄えるので反対です。

「国の教育予算拡
充」「義務教育費
の国庫負担堅持」
を求める

国への意見書の提出を求める陳情2件が付託された文教福祉常任委員会では、子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体千葉県連絡会の陳情人から願いの説明があり、委員からは、陳情の効果や少人数学級の現状、支援などについて質疑が出ました。

委員会、本会議とも、2件の陳情は全員賛成で採択されました。

また、前田美智江議員他7名による意見書の発議案を全員賛成で可決し、安倍内閣総理大臣、麻生財務大臣、下村文部科学大臣、高市総務大臣へ宛て、意見書の送付を行いました。

小学生が議場を見学



未来の議長さん？



中川小学校の3年生から
感想をいただきました！

議場はいろいろなことを話すところ (一部を掲載します)
ということがわかりました。
(相川和音さん)

たくさんの椅子が並んでいました。上の方の数字(残時間表示)の意味もわかりました。
(鈴木暖乃さん)

議員さんが23人(1人欠員)ということがわかりました。
(篠原亜希さん)

議長さんの席はすごくフカフカしていて気持ち良かったです。
(小沢凌篤さん)

机に大きな名札がある事を初めて知りました。
(田中洸生さん)



5月19日に根形小学校、22日に中川小学校の3年生が市役所見学に来庁しました。

議場見学では、議会や議員の仕事について説明をして、「議会では、みんなの身近な話題について話し合いをしている」と話すと、「へ〜」「ふ〜ん」と、しきりに鉛筆を動かしていました。

子ども達は、議場の一般質問残時間表示やカメラ、椅子、

議員の氏名標、傍聴席などに興味津々で質問してくれました。

最後に議長席や市長席等に座ってもらうと、「どうやらこの席に座れますか？」などという質問も飛び出しました。「25歳になったら市の議員にも市長にも立候補できるから、みんな、どんな市になったらうれしいか、いろんなことを見て、聞いて、考えてね。」と話しました。将来が楽しみです。

平成27年6月定例会の議決結果

6月定例会では、議案7件、諮問3件、陳情2件、発議案3件について審議し、すべての案件について原案のとおり可決されました。そのうち賛否が分かれた案件は3件でした。

◆賛否が分かれた案件

議案等	議決結果	粕谷智浩	在原直樹	小国勇	笹生典之	緒方妙子	篠原幸一	村田稔	鈴木憲雄	佐久間清	前田美智江	長谷川重義	篠崎龍夫	茂木芳和	脇波久子	佐藤麗子	笹生猛	榎本雅司	阿津文男	田邊恒生	塚本幸子	福原孝彦	篠崎典之	渡辺盛(議長)	
国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	●	-
平成27年度一般会計補正予算(第1号)	原案可決	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	欠	●	○	○	●	●	○	○	●	○	-
議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定(発議案)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	●	-

- ◆議長は、地方自治法第116条の規定により、採決に加わりません。
- ◆議案名中の『袖ヶ浦市』及び、『～について』は省略表示してあります。
- ◆脇波久子議員は、出産のため欠席となりました。

○=原案賛成 ●=原案反対 欠=欠席

○全会一致で原案可決・同意・認定された案件

- 介護保険条例の一部を改正する条例の制定
- 財産の取得(消防ポンプ自動車(CD-I型)購入)
- 専決処分の承認を求めること(税条例等の一部を改正する条例の制定)
- 専決処分の承認を求めること(都市計画税条例の一部を改正する条例の制定)
- 専決処分の承認を求めること(内房線長浦駅南北自由通路及びこれに支障する鉄道施設の建替え工事に係る工事施行協定の変更)
- 人権擁護委員の推薦(小倉正敬氏、田代悦子氏、稲垣昭彦氏(3氏とも再選))
- 「国における平成28(2016)年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する陳情書
- 「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する陳情書
- 国における平成28年度教育予算拡充に関する意見書(発議案)
- 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書(発議案)

詳細については袖ヶ浦市ホームページでご確認いただくか、議会事務局にお問い合わせください。

袖ヶ浦市ホームページ <http://www.city.sodegaura.lg.jp>

議会事務局 ☎ 0438(62)3450(直通)



議長交際費のホームページ公開を始めました

平成27年4月分から議長交際費をホームページで公開しています。市議会「トピックス」か、「袖ヶ浦市議会の紹介-議長・副議長」から閲覧できます。



11人が市政を問う

一般質問

一般質問とは、市政のあらゆる疑問について、本会議の場で、市に対し議員が質問や提案を行うものです。
 議員本人がQ&Aを要約し、作成した原稿を登壇順に掲載しています。
 未掲載の内容も含め、一般質問の様子を市のホームページで録画配信中ですのでご覧ください。
 会議録は9月頃掲載予定です。



緒方 妙子 議員

(公明党)



・高齢者の安心・安全について
 ・教育行政について
 ・空き家対策について

高齢者の安心・安全について

Q 介護保険制度改正における本市の対応は、在宅生活を地域で支える体制をH30年4月までに整えます。

A 地域事業へ移行する介護サービス対応は、移行後も同サービス継続と生活支援等は民間等で体制を整えます。

Q 改定による本市保険料の考え方。

A 基準の細分化で過度な負担を抑えました。

Q 消費者被害、特殊詐欺への対応、防衛策。

A 相談員1名増員。関係機関連携、迷惑電話チャットカードの貸出し、啓発を行っています。

Q 教育行政について

A 教育委員会制度見直しにあたり市長の認

教育行政について

認しにあたり市長の認

識と本市への影響

Q 責任の明確化、会議を設ける事でさらに民意を反映した教育行政の推進が図られます。

A 不登校児童等への学習支援について。

Q 個々の状況に応じた支援を行い、学級への復帰に努めています。

A 経済的支援の必要な方への就学援助費は、様々な方法で周知し、配慮した対応をしています。

Q 奨学資金貸付の収入制限について。

A 無利子貸付の為、経済的修学困難な方への貸付けになっています。

Q 条例施行による長浦の老朽ビルへの対応

A 条例施行により改めて適切に取り組みます。

空き家対策について

適切に取り組みます。

適切に取り組みます。

佐久間 清 議員

(開放クラブ)



・富川橋架け換え工事に伴う周辺の影響について
 ・行政経営計画(第6次行政改革大綱)の取り組みについて

富川橋架け換え工事に伴う周辺の影響について

Q 阿部地区狭隘区間と市道横田吉野田線の交通量調査の実施について。

A 県道長浦上総線については、現在、通行止めに伴う大きな混乱もなく、交通量調査を実施する予定はありません。

Q 市道横田吉野田線については、市が講じた安全対策を検証するため、交通量調査を実施します。

Q 第6次行政改革大綱の取り組みについて

A 窓口サービスについて、アンケート調査を実施しないか伺う。

Q 前回のアンケートから時間も経っているため、庁舎改修前に再度アンケートを実施し、庁舎改修に活かします。

Q 現在の窓口カウンターの仕切り板があるが、仕切り板が低く、来庁者からの相談内容によってはプライバシー保護や個人情報関係で問題があると思うが、現状認識と具体策について伺う。

A 現状の仕切り板では、完全には、プライバシーを保護することはできないものと認識しています。庁舎改修に合わせて、改善を図っていきます。

Q 窓口ワンストップサービスに向けた具体的な取り組みについて伺う。

A 庁舎改修に合わせ、2階に配置されている子育て支援課、保育課、健康推進課等を1階に配置するなど、本市にとって最も適した総合窓口の構築を目指します。

構築を目指します。

前田 美智江 議員 (公明党)



・災害に強いまちづくりへの取り組みについて
・マイナンバー制度について

急がれる災害時の支援強化を！

Q 福祉避難所は、耐震耐火構造、バリアフリー化されている等、要援護者の安全性が確保された施設だが、介護や医療相談等が受けられる空間も必要ではないか伺う。

A 保健師や社会福祉士などの有資格職員が相談業務を行えるようなスペースを設け、支援していきます。

Q 地域の公園は一時避難場所や災害活動の集結場所となりうる重要な場所なので、防災機能を備えないか伺う。

A 今後、災害の教訓等を踏まえて調査研究していきます。

Q 災害時に在宅避難者をどのように把握し、支援していくのか伺う。

A 災害時要援護者登録台帳の活用や地域の皆様のご協力をいただきながら、住民の安全確認を行う中で所在を確認し、必要な支援を行っていきます。

マイナンバー制度について

Q 市民の個人情報を守るために、どのような措置が実施されるのか伺う。

A 法律によって、特定個人情報ファイルの利用については、社会保障、税、災害関係の事務その他これらに類する事務に利用範囲が限定されています。また、法定外の事務については、地方公共団体で利用する場合には、条例による規定が必要になるなど厳しい制約がかけられています。

篠崎 龍夫 議員 (新政会)



・交通渋滞への対応について
・積極的産業振興策を

交通渋滞への対応を

Q アクアラインは、土日の夕方、上り線が渋滞になる。5月の連休には、夜中の1時まで渋滞した。渋滞の主因は、浮島ジャンクションでの合流能力不足にあるが、他の緩和策について問う。

A ①市が改善を求めている東京湾岸道路及びアクアライン連絡道の側道

4車線化

②設計上にはあるアクアラインの3車線化

③JRとレンタカーの利
用推進

④「袖ヶ浦で、夕食を」
などの看板設置

A ①に対し、引き続き国・県に対し、早期実現を要望していきます。②に対し、ネクスコ東日本によれば、莫大な工事費を要することから、現

(新政会)

時点では、事業化の計画はないとの見解でした。

③に対し、JRなどに、レンタカーやカーシェアリング誘致などの可能性を確認します。
④に対し、県の屋外広告物条例により、設置は難しい状況です。

積極的産業振興策を

Q 高岡市では、産業の振興策として、地域産業の特徴を絞り出し、保持する技術の普及などを、県やJETROの協力のもと行っている市でも、同様な振興策を行っていかないか。

A 高岡市と本市では、産業の特徴が異なり、直接参考にはなりません。市の産業振興ビジョンの策定や椎の森工業団地の整備にあたり、県と連携を図り進めています。

※JETRO (日本貿易振興機構)

田邊 恒生 議員 (市民クラブ)



・国策のマイナンバー、地方創生に本市はどうか動き、取り組むのか
・公共施設(建築物)の再編整備計画の推進について

マイナンバー制度、地方創生にどう取り組むのか

Q マイナンバー制度の活用について伺う。

A 市民の利便性が向上するものとして、年金や福祉などの申請で添付書類が減少するなど手続きが簡単になります。そのほか、所得把握・社会保障の正確性向上や社会保障の受給状況の確かな把握による公平・公正な社会の実現、さらに国の行政機関・地方公共団体間で複数の業務連携が進み、作業効率が向上すると考えています。

集を行います。

Q 地方創生総合戦略策定で国が示す人口ビジョンについて伺う。

A 東京一極集中を是正して人口減少に歯止めをかけ、出生率を2030年に1・80程度、2040年に2・07程度に出来れば、2060年に人口1億人程度を確保出来るとしています。

Q 国の示す政策パッケージに4つの取り組み骨子が示されているが、何を重点に取り組むのか伺う。

A 子育て施策やまちづくりには引き続き力を入れて取り組むと共に、「雇用の創出」や「人の流れ」については産業振興ビジョンで方向性を示していますので整合を図り策定を進めていきます。

小国 勇 議員

(志清会)



- ・本市の農業行政について
- ・ふるさと納税について
- ・火葬場建設について

農業行政について

Q 本市の農業の現状と方向性について。

A 農業従事者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の拡大等の問題が懸念されています。しかしこれらの農業における現状を整理した上で産業振興ビジョンの「人・農地プラン」による担い手の育成、耕作放棄地の解消に取り組んでいきます。

Q 鳥獣駆除体制の強化の検討について。

A 鳥獣被害対策実施隊の設置及び、ワナ猟免許取得費用の助成を検討しています。

ふるさと納税について

Q 寄付者の特典として本市の農産物を考えているようだが、具体的な検討は行っているのか。

A 現時点では米、畜産物、季節の野菜詰め合わせ等を考えています。

Q 寄付者と今後の繋がりが持てること望ましいと考えるが、本市の見解は。

A 産業振興、地域経済の活性化、財源確保の面でも重要と考えます。

火葬場建設について

Q 4市広域による火葬場建設の協議を進める過程で、本市が協議に参加する判断は、いつ頃までに返事をするのか。

A 木更津市と協議を行う中で確認します。

Q 火葬場建設の候補地として木更津市が挙げられているが市民の利便性をどう考えているか。

A 市の方向性も検討する中で、利便性も含めて考えていきます。

榎本 雅司 議員

(創袖クラブ)



- ・地方創生及び産業振興の取り組みについて
- ・農業行政等に対する取り組みについて

地方創生及び産業振興

Q そでがうらツურიズム推進事業を伺う。

A まち・ひと・しごと創生法に基づいた袖ヶ浦市版の総合戦略の先行型事業の一つとして実施するもので、都市住民に農産物の収穫体験をメインとしたバスツアーの実施と、サービスエリア等での観光ガイドブックの配布など、交流人口増加と農業や観光の振興による活性化を目的としています。

Q 収穫体験ツアーのH28年度以降の実施を伺う。

A H27年度の結果を検証し前向きに判断します。

Q 商品開発プロモーション事業を伺う。

A 商品開発プロモーション事業を伺う。

地域特産品として、首都圏で活躍するシエフにより、メイン料理、スイーツなど15品程度を開発し、食に関する魅力の発信を進めます。

Q 「まち・ひと・しごと創生」総合戦略において平川地区への施策を伺う。

A 市民懇話会や説明会などで意見を伺い、平川地区の人口減少や農業振興など総合戦略の中でしっかりと検討します。

Q 農業基盤整備事業の予算状況を伺う。

A 国から県への配分が要求額の約55%です。

Q 市道三箇横田線の整備予定を伺う。

A H27年度は、H26年度の整備箇所から約140mの工事を行う予定です。

篠崎 典之 議員

(日本共産党袖ヶ浦市議員団)



- ・健康推進行政について
- ・「袖ヶ浦市公共施設（建築物）の再編整備計画（案）」の検討内容について

ガウランド運営は不都合がないように

Q 健康づくり支援センター「ガウランド」の運営時間変更が検討されているが、全利用者が不都合になってはならない。経緯と検討内容はどうか。

A 利用が多い中、午前朝開場の要望がある一方、午後8時以降の利用が極端に少ないため、10月からの平日利用を朝9時から夜8時半（浴場は朝9時半から夜8時半まで）としますが、アンケート等を考慮し検討します。

窓口業務の委託等の検討は問題

Q マイナンバー制度導入を機に、個人情報委託化が検討されている。年金情報漏洩もあつた中、民間委託は偽装請負の懸念もあり、検討すること自体不要ではないか。

A マイナンバー制度は、情報漏洩への罰則も強化され、不正利用に歯止めがかかり、情報漏洩を防止できると考えます。また、偽装請負とならないよう事前検討し、委託の有効性を検証します。

Q 図書館窓口業務の指定管理者制導入検討はそぐわないと考えるがどうか。

A 本筋を外れないよう短期に見直し、検討していきます。

笹生 典之 議員 (新風会)



・防災・減災に向けた更なる取り組みについて
・「袖ヶ浦市民ふれあい夏まつり」見直しの経緯と今後について

防災、減災に向けた更なる取り組みについて

Q ゲリラ豪雨が常態化する中、市内準用河川久保田川の治水対策が必要と考えるがいかがが。

A 上流域に調節池を設置する案が考えられますが、実施には、国庫補助金の採択要件を満たすことの検討や多額な事業費の財源確保が必要であるため、現時点での事業化は困難な状況です。

Q 福祉避難所では、停電時にも安定した電力供給が必要となる可能性がある。ガソリン式発電機より、長時間使用が可能なLPガス対応の発電機を設置しないか。

A LPガス発電機は、すでに平川公民館に配備していますが、他の福祉避難所施設への設置については、今後検討

してまいります。

Q 市民ふれあい夏まつりの見直し経緯と効果見込は

A 見直しの経緯と今後の見込みについて伺う。来場者の目的が、本事業の目的である市民交流から、主に花火観賞へと変わってきていることから、本事業を観光事業とコミュニケーション事業に分けることとしました。

Q イベントにおいては、市内各種団体を募り、本市の伝統芸能や文化を発信することで観光の推進に寄与すると考えます。

A イベントにおいては、市内各種団体を募り、本市の伝統芸能や文化を発信することで観光の推進に寄与すると考えます。また、地域コミュニティティー推進を目的とした新たな補助金制度を設け、地域が一体となるきっかけづくりを図ることで、地域力向上と住みやすい地域づくりが見込めるものと考えます。

佐藤 麗子 議員 (志清会)



・安心安全の街づくりについて
・袖ヶ浦市のPR方法について
・袖ヶ浦市の未来について

安心、安全のまちづくりについて

Q ゾーン30の効果と今後の計画について。

A 通過する車両が減速する様になり安心感が増しました。H27年度は、中川小学校周辺及び今井地区を計画中です。

Q 道路交通法の改正に伴う内容の周知と自転車安全対策、自転車運転免許証の発行について。

A 安全教室やイベント、駅前でのチラシ配布、広報で周知を行い、鎌倉街道は今後事業化する中で歩道を含めた対策を検討します。自転車歩行者警察署と協議を行います。免許証は隔年で小学校1校に。修了証は要望に応じてお渡ししています。

Q 防犯カメラの設置計画について。

Q H27年度は袖ヶ浦駅及び長浦駅周辺へ設置を考慮しており今後はその効果を検証し考えます。

Q 富士山噴火による火山灰の影響と備えに対する周知啓発について。

A 約30年前の噴火では8cmの降灰があり、健康被害や交通インフラ、農作物などへの被害が考えられます。今後は、各家庭向けに周知を行うと共に防災訓練で情報揭示するなど啓発を図ります。

袖ヶ浦のPRについて

Q 高須箕輪田線を、チバフォルニアと呼ばれる南国をイメージした海浜公園と調和させて、袖ヶ浦市のイメージアップにつなげないか。

A 袖ヶ浦駅海側地区の整備と調和を図りながら今後考えていきます。

笹生 猛 議員 (創袖クラブ)



・「子育て環境日本一」について
・ソーシャルメディアを活用した袖ヶ浦市の情報発信戦略について

出口市政8年「子育て環境日本一」を問う

Q 「子育て環境日本一」について、市にどんな成果をもたらしたか？

A 多くの自治体が人口減少の中、本市では人口増を保っていることです。

Q 袖ヶ浦市の子育て環境は相対的に何位に位置するか？

A 順位を表すことは難しいと考えています。「子育て環境日本一」について政策会議の議題として何度取り上げられたか？

Q 議題としては取り上げておりません。しかし、各部署でマニュアル記載事業に関してどのように進めるか調整している部分があります。

市役所内でも共有なき「子育て環境日本一」

Q 理念の共有がなされていないと感じる根拠は、色々な部長に話を聞くと「マニフェストを斟酌して自分の仕事に活かしている」という趣旨の発言があった。これは理念を共有しているとは言えない。「子育て環境日本一」を取り下げ、「子育て環境充実」にした方が市民に対して誠実だと考えるがいかがが？

A これを継続してしっかりとやっていききたいと思っております。

10月の市長選挙に「立候補の意思」明言せず

Q 今回の指摘を行政課題として、次の市長選挙に立候補するか？

A そのことはまだ考えておりません。

より良いまちづくりへ!

視察レポート

～常任委員会編～



各常任委員会、議会運営委員会及び各特別委員会は、それぞれの所管事項の調査・研究のため、行政視察を行っています。袖ヶ浦市の問題点に焦点を当てて視察先を決定し、先進地の取り組みを

袖ヶ浦市のまちづくりに活かします。

今号では、常任委員会の行政視察について報告します。

総務企画常任委員会 【4月22日～23日】	◆島根県益田市 ◆島根県大田市	人口拡大計画について 定住促進の取り組みについて
文教福祉常任委員会 【5月12日～13日】	◆長野県須坂市 ◆長野県長野市	健康づくりの取り組みについて（保健補導員制度） 認知症初期集中支援チームについて 介護予防の取り組みについて
建設経済常任委員会 【5月14日～15日】	◆富山県富山市 ◆富山県高岡市	コンパクトなまちづくりについて 高岡市新産業創造プラットフォームについて 産業振興ビジョンについて

総務企画

市内外にインパクトを与える 大胆な施策 ～益田市～

益田市は、人口増に向け、平成26年度に人口拡大課を設置し、「子育て世代に手厚く！UIターン大歓迎！中山間地域を元気に！」の3つの切り口から施策を行っている。

UIターン者応援事業では、住宅購入や賃貸住宅入居等に対し助成金を交付し、若者や親子、中山間地定住者への加算も行っている。この制度でのUIターン者は、平成26年度で99件190人。

「ますだ暮らし相談員」を配置し、移住希望者に対し、定住後のフォローや各種相談、田舎暮らしや農林水産業の体験など、市内外にインパクトを与える施策を行う。

当市でも人口減少が懸念されており、益田市の大胆な移住促進はぜひ参考にしたいところだと感じた。

2015年 住みたい田舎ランキング 第1位！ ～大田市～

大田市は、世界遺産の石見銀山遺跡いわみを抱える、定住促進の先進地。空き家バンク制度によって300人超の移住者を受け入れ、定住促進と職業紹介の担当部署を新設した。

転入者アンケートでは8割が40歳代未満で、転入者の3大ニーズは「仕事があるか」、「住む家があるか」「子育て環境はどうか」であり、ここで子育てをしたいというニーズを強く感じた。

転入者の悩みや疑問への対応は、専用の相談窓口を設置。相談内容は、留守の際に勝手に玄関を開けて野菜を置いていくなど、田舎では当たり前のことが、都会で生活してきた人には合わないことなどがあるとのこと。

観光地の周辺整備を定住へつなげる取り組みや、空き家の見学ツアー開催など、当市にも活かしていきたい制度が多くあった。



空き家の見学ツアーが人気（大田市）

しょうゆはスプレー容器に 保健補導員が伝える健康 ～須坂市～

長野県は、平均寿命1位を誇る長寿県。須坂市は要介護率が県内全市中一番低く、元気な高齢者が多いまち。

保健補導員は、当市の母子保健・食生活改善推進員のような制度で、家庭の健康管理者である女性が、健康に関する研修と技術を身につけ、「自分たちの健康は自分たちで守り、地域に貢献する」という考えを基に活動している住民自主組織。補導員は各地区から推薦され、任期は2年、基本的に再選は無く、一家に一人の補導員（経験者）を目指している。

保健補導員は、毎月学習や体験を行い、学習したことを家庭や地域に広げてもらうことが狙い。しょうゆをスプレー容器に入れるなど、減塩の食事づくりや健康体操（長野県須坂エクササイズ）の普及などを行う。世帯ごとに娘やお嫁さんに健康的な生活を伝えられるすばらしさを感じた。



7種類の健康体操のうち、証城寺の狸囃子を体験（須坂市）

文教福祉

認知症初期集中支援チームの先駆け ～長野市～

袖ヶ浦市にも平成27年4月から発足した「認知症初期集中支援チーム」。長野市は全国に先駆け促進モデル事業に採択された。

平成26年度には、対象者60名に対し年間延べ217件の訪問を行い、相談件数も延べ3,995件と増加傾向にある。

家族からの相談が圧倒的に多く、生活になんらかの支障が出てきてからというのが現状。主治医がいても認知症の治療をしていない者が65%もあり、本人が受診拒否している場合は、チーム員が話をすることで、素直に治療につながるケースが多く見られた。

介護予防の取り組みは、訪問指導や通所型サービス、出前講座を行っているが、自身が続けられるような取り組みづくりが大切とのことだった。

建設経済

市内の主要箇所をつなぐ お団子と串型の多角的なまちづくり ～富山市～

富山市は、1999年の調査で7割以上が自動車に依存しており、高齢化社会で車を自由に使えない人の増加が予想され、公共交通の衰退を懸念し、コンパクトなまちづくりに着手した。

富山駅周辺と合併前の旧中心地をつなげ、その拠点に居住・商業・文化等の都市機能を集積させ、お団子と串型のような都市構造を目指す。ライトレール（次世代型路面電車）の整備により、高齢者の外出を促し健康の増進、医療費の減少などの波及効果も狙う。また、主要道路の街路灯上部に花を飾るなど、心も体も健康に楽しく過ごせる多角的なまちづくりを行っていた。市役所内の各課にまたがる、本来の意味での「まちづくり」に取り組み、小さな成功でも、広く伝えることでまちづくりの意欲を高め、交流人口・定住人口の増加につなげているとのことだった。

今あるモノを活かす 世界に羽ばたく産業振興 ～高岡市～

高岡市は、産業分野の強化に重点を置き、平成22年度に新産業創造プラットフォーム事業を立ち上げた。まちを構築するためには、まずは働く場所と生活の安定が必要。産業強化のために新分野への進出や、新事業展開を図ろうとする意欲ある企業、事業主を支援するため、多様なニーズにワンストップで対応する。国・県の補助金や研究機関への情報収集を行い、金融機関や県、支援機関への橋渡しなど多様なメニューを準備して対応している。また、日本で初めてJETRO（日本貿易振興機構）との覚書を交わし、海外進出も支援している。

企業誘致は、近隣3市と共同でビジネス交流交換会を開催したり、名古屋や東京で出展するなど産業分野の強化のみならず、広い視点で多方面の強化につなげていた。



少人数の担当者で市内の企業・事業主に対応（高岡市）

カフェで ぎかい 開催

お待ち
しています

議員と話してみませんか？



議会ってなに？
議員って、どんな仕事をしているの？
袖ヶ浦市、もっとこうすればいいのに！



そんなみなさんの疑問を、議員と共に話しましょう。
お茶を飲みながら、話しやすいカフェ形式を考えています。
事前のお申し込みは不要です。直接会場へお越しください。

参考：友好議会久慈市議会の市民との
意見交換会「かだつて会議」の様子

8月22日(土) 市民会館2階 レストランホール

午前10時 から12時まで

議会改革推進特別委員会

※普段着でお越しください。

※会場の定員は50名程度です。定員を超えた場合は入場できない場合があります。

永年在職議員表彰

永年にわたり議員として、市政の振興と地方自治の進展に尽くされた功績により、全国市議会議長会から次の議員が表彰されました。

また、渡辺議員は、市議会議長を4年間務めた功績により、併せて表彰されました。



渡辺 盛 議員 田邊 恆生 議員

◆特別表彰◆

議員20年以上表彰

◆一般表彰◆

議長4年以上表彰

◆一般表彰◆

議員10年以上表彰

9月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
8/30	8/31	9/1	2 本会議 10:00~	3	4	5
6	7	8 本会議 (一般質問) 9:30~	9 本会議 (一般質問) 9:30~	10 本会議 (一般質問) 9:30~	11 本会議 (一般質問 予備日)	12
13	14 総務企画 常任委員会	15 文教福祉 常任委員会	16 建設経済 常任委員会	17 決算審査 特別委員会	18 決算審査 特別委員会	19
20	21 敬老の日	22 国民の休日	23 秋分の日	24 決算審査 特別委員会 (予備日)	25	26
27	28 本会議 10:00~	29	30	10/1	10/2	10/3

*一般質問通告一覧表は8月28日頃、ホームページに掲載する予定です。

*9月定例会の日程は、8月26日(水)に開催される議会運営委員会で正式決定されます。詳しくは議会事務局(62-3450)へお問い合わせください。

